

株主のみなさまへ

株主のみなさまには平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

2025年度(2025年4月～2026年3月)は、中期経営計画のターゲット市場であるAI半導体分野では主に日本、東南アジア、台湾にて電子部品・電子機器の試験需要が堅調に推移しました。衛星通信分野では、北米にて低軌道衛星を運用する民間企業からの試験需要が大幅に拡大しました。一方、自動車関連では、EV・バッテリー向けを中心に需要が大幅に減少しました。

当年度の経営成績につきましては、受注高は北米、東南アジアが好調に推移し前年度比で7.5%の増加、売上高は日本、北米、東南アジアが好調に推移し4.1%の増加となり、いずれも過去最高を更新しました。利益面につきましては、カスタム製品の利益率改善は進んだものの、中国市場や受託試験サービスの収益悪化に加え、主に受注高の伸長に伴う販管費の増加により、営業利益は5.9%の減少、親会社株主に帰属する当期純利益は2.1%の減少となりました。また、ROE(自己資本利益率)は10.0%となりました。期末配当金につきましては、1株当たり70円、年間115円とさせていただきました。

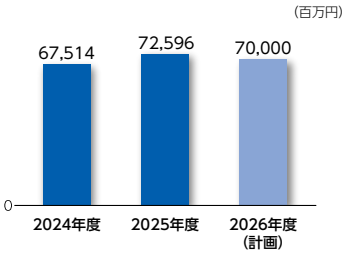
当社は、中期経営計画「PROGRESSIVE PLUS 2027」のもと、2027年度目標として売上高700億円、営業利益105億円、営業利益率15.0%、当期純利益76億円、ROE12.0%以上を目指してまいりました。初年度である2025年度は、受注高・売上高はターゲット市場を中心に堅調に推移したものの、利益面は期初計画を下回ったため、誠に遺憾ながら目標数値を売上高760億円、営業利益91億円、営業利益率12.0%、当期純利益67億円に見直しました。ROE目標につきましては、財務資本戦略をさらに強化することとし、当初目標12.0%以上を据え置いております。2026年度は、売上高730億円、営業利益80億円、営業利益率11.0%、当期純利益58.8億円、ROE10.0%を計画しております。中東情勢緊迫化による影響につきましては、世界経済の減速懸念はあるものの、現時点では直接的な影響は限定的と見ております。引き続き事業への影響を注視し、適切に対応してまいります。事業環境は先行き不透明ではありますが、収益改善策の強化と成長戦略の着実な実行により、「筋肉質で持続可能な高利益体質の確立」を目指します。

株主のみなさまにおかれましては、一層のご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

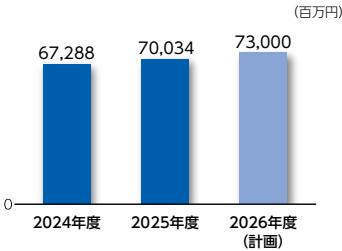


◀決算説明会の動画をご覧ください

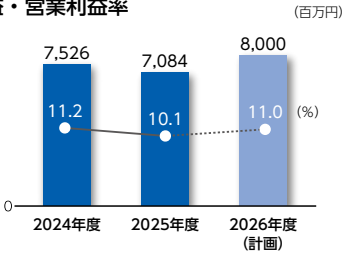
受注高



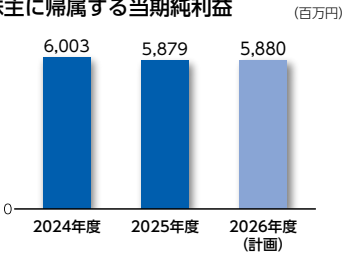
売上高



営業利益・営業利益率



親会社株主に帰属する当期純利益



1株当たり配当金

	2024年度	2025年度	2026年度計画
中間	35 円	45 円	45 円
期末	60 円	70 円	70 円
合計	95 円	115 円	115 円
配当性向	34.5%	42.5%	41.8%
総還元性向	34.5%	75.3%	—

